

ドローンロボット技術サービス産業創出事業

第2回事業評価結果

令和6年度第2回事業評価委員会を開催しました。

1. 目的

事業評価委員会は、外部の学識者等5名から構成されています。
専門的な立場から当該事業への意見、評価を求めることを目的としています。
事業評価委員

委員長	秀島栄三	教授	名古屋工業大学大学院
委員	児島正幸	ユニット長	名古屋商工会議所
委員	山下哲央	統括マネージャー	中部圏イノベーション推進機構
委員	青山美代子	課長	中部経済産業局
委員	加藤智子	担当課長	愛知県
連携先	名古屋市		
事務局	(公財)名古屋産業振興公社		

(順不同敬称略)

2. 開催日時

第2回 令和7年2月25日(火)

3. 会議内容

本事業の実施結果等に対する評価、意見交換

4. 評価結果

第2回評価	評価基準	評価ポイント	評価
成果、効果	事業計画	本事業は計画通り完了できたか、進捗管理は妥当であったか。	S
	結果・成果	本事業により当初想定した結果や期待した成果は得られたか。	A
	支援体制	選定採択事業者への支援体制は妥当であったか。	S
総合			S

評価記号

S(想定を大きく超える)、A(想定以上である)、B(想定どおりであるが、もう一工夫あると良い)、C(内容を見直し、次計画に修正案を活かす)

5. 事業への意見・助言

審査員からの助言・意見

- ・事業の趣旨などに対する事業者の理解は以前より深まったようである。
- ・補助事業者・施設提供者双方への丁寧なヒアリングにより効率的にマッチングができ、事業が完了できたことは評価できる。
- ・新たな点検希望業者の開拓ができており、事業拡大も期待でき、本事業の目的を満たす成果であった。点検業者、施設側ともにしっかりとコミュニケーションがとられており、アンケートの結果からも良い事業だったと感じた。
- ・実施事業者が独自の工夫も追加して点検実証したケースも見受けられる等、事業者がそれぞれに点検の体験を通じて得たものは大きいようであるが、ばらつきもみられる。
- ・ドローンは能登半島地震を契機に既存のソリューションではできなかった応急対応が可能になった新たなソリューションとして注目されている。事業者のスキルアップのみならず、他への横展開等の市場創出につながる取り組みができるとなおい。